

Pioneer

チューナーCDアンブ

DEH-333

取扱説明書

carrozeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

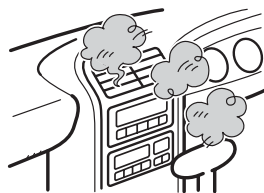
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- 1 各部のなまえ 6

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース（音源）を選ぶ 8
 - 電源を切る
- 2 内蔵CDのふだんの操作 10
 - CDを再生する
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 12
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する

内蔵CD

内蔵CDでCDを聞く

- 1 同じ曲を繰り返し聞く 14
- 2 いつもと違う曲順で聞く 14
- 3 聞きたい曲をさがす 15
- 4 CD再生を一時停止する 15

ラジオ

ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を 16
 - 自動的に記憶させる
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 17
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 17

音の調節

音を調節する

- 1 イコライザーカーブを選ぶ 18
- 2 オーディオ調節モードの 18
 - 切り換えかた
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 19
- 4 お好みに合わせて 19
 - イコライザーカーブを調節する
- 5 小音量時の音にメリハリをつける 20
- 6 前にステージが 20
 - あるような感じにする
- 7 各ソースの音量の違いをそろえる 21

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他の機能と付録

1	交通情報を受信する	22
2	時計を合わせる	23
3	時計を表示させる	23
4	CDの正しい使いかた	24
5	故障かな？と思ったら	26
6	こんなメッセージが表示されたら	28
7	保証書とアフターサービス	29
8	おもな仕様	30

はじめに

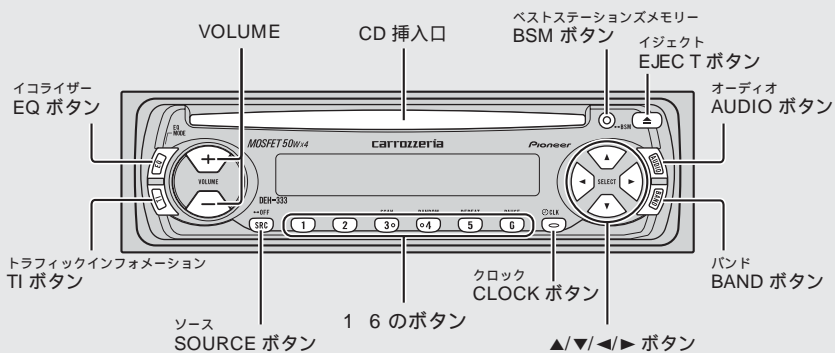
内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

音を調節する

その他の機能と付録

本機



聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

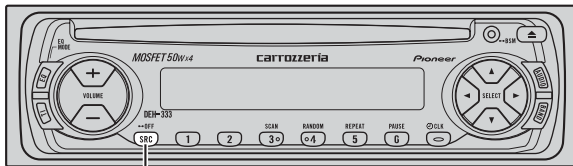
ラジオ (FM/AM)

内蔵CDに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを1秒以上押す

本機の電源が切れます。



ソース
SOURCE ボタン

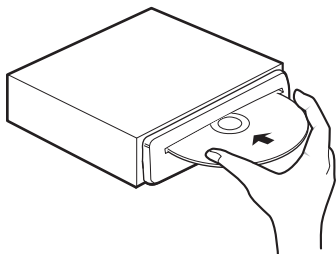
メモ

CDがセットされていないときは、内蔵CDには切り換わりません。
本機の青リード線(オートアンテナ)に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



再生経過時間

ご注意

CDシングル(8 cm CD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

⚠ 注意

CD挿入口にはCD以外のものを入れない



CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

禁止

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、ラジオに切り換えることもできます。(P.37) ここだけで

① 8ページ

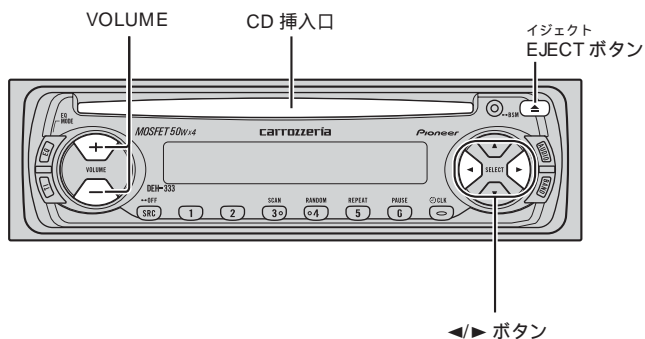
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り / 早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



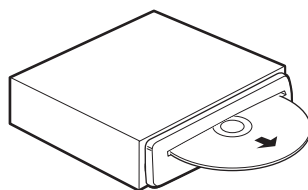
0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出してCD再生をやめる

EJECT ボタンを押す

CDが出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す
ラジオを受信します。

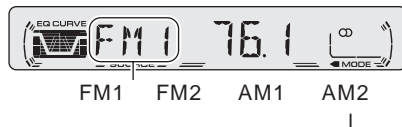


ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

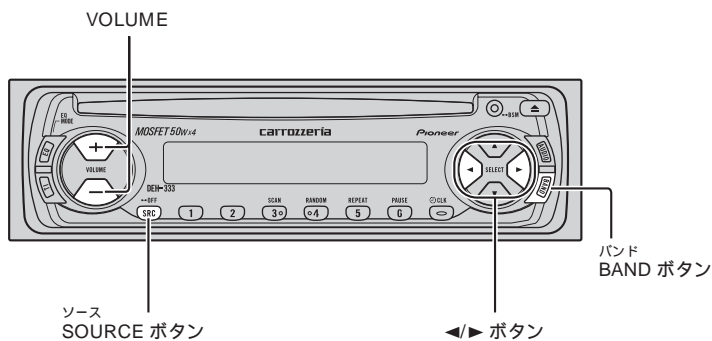
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが
切り換わります。



バンドごとに放送局を6局ずつ記憶でき
ます。(ラジオ12 16、17ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うこ
とでより多くの放送局を記憶できます。
例えば、バンド1にはふだんよく聞く放
送局を記憶させておきます。旅行先な
ど、どんな放送局があるのか知らない地
域に行ったときに、バンド2に切り換え
てBSMを使うと、バンド1に記憶させ
た放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

VOLUMEを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで 8 ページ)



3 6 のボタン

内蔵CD
1

同じ曲を繰り返し 聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピート再生をONにする

5のボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



リピート再生中に表示されます。

今聞いている曲を繰り返し再生します。

内蔵CD
2

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 ランダム再生をONにする

4のボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



ランダム再生中に表示されます。

次の曲から、ランダムに選曲します。

内蔵CD

3

聞きたい曲をさがす

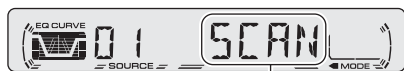
スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1

スキャン再生を始める

3のボタンを押す



スキャン再生中に表示されます。

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

2

聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

3のボタンを押す



メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

内蔵CD

4

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1

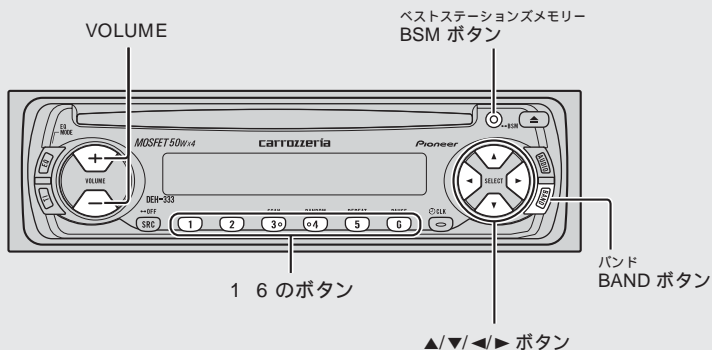
CD再生を一時停止する

6のボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



一時停止中に表示されます。

ラジオ
1

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで③ 12 ページ)



2 BSM を始める

BSM ボタンを2秒以上押す
(もう一度押すとBSMを途中解除)



記憶動作中に点滅します。



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
記憶させた放送局を呼び出すには(ラジオ③)

放送局を 1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1

記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 12ページ)

2

記憶させたい放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 13ページ)

3

記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



点滅が終わると、受信中の放送局が押したボタンに記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ③)

記憶させた放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1

記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 12ページ)

2

記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出すとき

1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

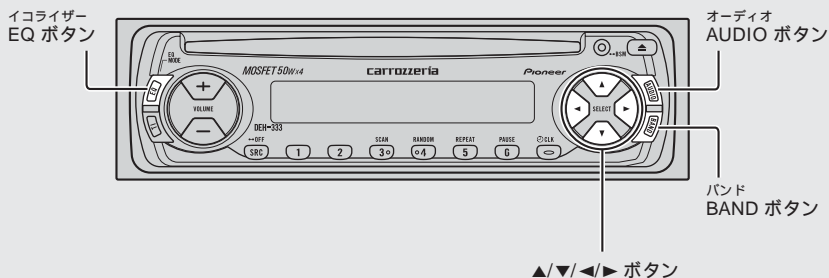
▲または▼ ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

音の調節
1イコライザーカーブ
を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、お好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

1 イコライザーカーブを
切り換える

EQ ボタンを押す



イコライザーカーブ

EQ ボタンを押すと次のように切り換わります。

PWRFL (POWERFUL)

NTRL (NATURAL)

VOCAL

CSTM (CUSTOM)

FLAT

SBASS (SUPER BASS)

PWRFL に戻る

メモ

“CSTM”(CUSTOM) には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが記憶されます。

音の調節
2オーディオ調節モード
の切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを
切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(音の調節③)

イコライザー調節モード
(音の調節④)

ラウドネスモード (音の調節⑤ 20 ページ)

FIE モード (音の調節⑥ 20 ページ)

SLA モード (音の調節⑦ 21 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ


オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節②)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき




左右のバランスはR9 ~ L9の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。


お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQ ボタンを押して選ぶ
( 音の調節①)

2 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節②)



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



L (低音)、M (中音)、H (高音) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき





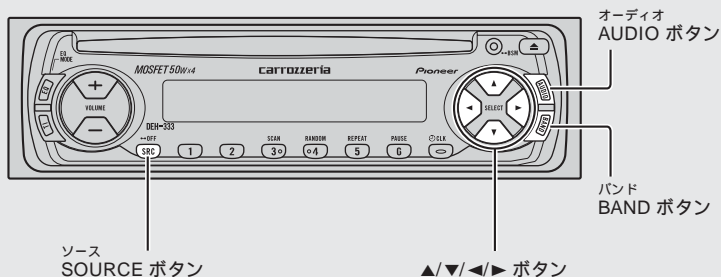
イコライザーカーブを調節すると表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。

“CSTM” (CUSTOM) を選ぶには ( 音の調節①)、交通情報 ( その他① 22 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。



5 音の調節 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節② 18 ページ)



2 ラウドネスを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



ラウドネスが ON のときに表示されます。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 効果を大きくするとき
- ◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱) MID (中) HI (強) の中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

6 音の調節 前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIE モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節② 18 ページ)



2 FIE を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



各ソースの音量の
違いをそろえる

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

3 FIEの周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



100、160、250 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より低い周波数の音が、後ろのスピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

4 前後の音量バランスを
調節する (音の調節⑤ 19 ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロント イメージ エンハンサー) の略です。
2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。

1 FM放送を受信し、FMの音量
を確かめる

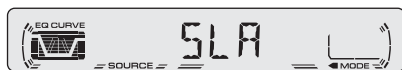
SOURCE ボタンを押す
(音の調節③ 12 ページ)

2 調節したいソースに
切り換える

SOURCE ボタンを押す
(音の調節① 8 ページ)

3 SLAモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(音の調節② 18 ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

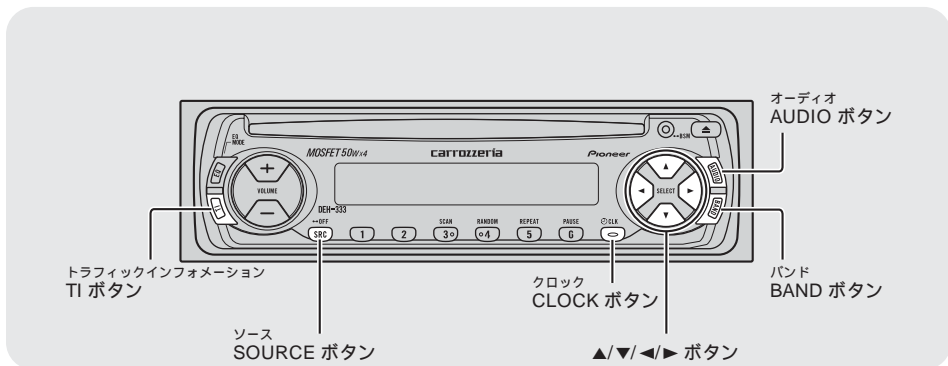


-4 ~ +4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
AM、CDのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、AMと交通情報 (音の調節① 22 ページ) は同じ設定になります。



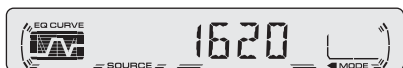
その他 1 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。

交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHz にするとき

◀ : 1,620 kHz にするとき



周波数が切り換わります。

その他
2

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す
( ここだけで①8ページ)

2 時計調節モードにする

電源がOFFのときに、AUDIO ボタンを2秒以上押す



3 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



押すごとに時と分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき



分を修正すると、0秒からカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、時計調節モードを解除してください。

メモ

時計調節モードを解除すると、電源がOFFになります。

その他
3

時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFにかかわらず、時計を表示させることができます。

1 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す
ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



時計表示

メモ

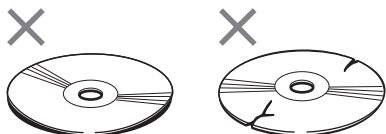
本機の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

使用できるCDについて

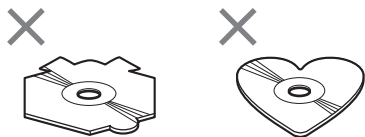
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



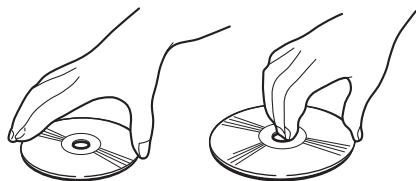
音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



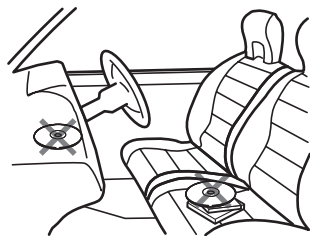
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

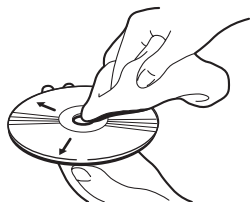
直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店で買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (E38 その他⑦ 29ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (E38 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(E38 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (E38 ここだけで② 11ページ) (E38 ここだけで③ 13ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E38 音の調節④ 19ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E38 音の調節④ 19ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (E38 音の調節④ 19ページ)

ラジオ


症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで③ 13ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで③ 13ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで③ 13ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他④ 25ページ)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他④ 25ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 10ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERR-11」「ERR-12」 「ERR-17」「ERR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他④ 25ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERR-10」「ERR-11」 「ERR-12」「ERR-14」 「ERR-17」「ERR-30」 「ERR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

CD プレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号	フォーマット: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16 ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	レンジ: 92 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 9 dBf (0.8 μ V/75、 モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB	感度: 14 dBf (1.4 μ V/75、モノラル)
S/N	: 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ	
セパレーション	: 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度	: 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・オーディオ部

最大出力	: 50 W \times 4
定格出力	: 22 W \times 4 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)
イコライザー	(3バンド イコライザー): (LOW) 調整幅: ± 12 dB (MID) 調整幅: ± 12 dB (HIGH) 調整幅: ± 12 dB
ラウドネス	コンター: LOW : 3.5 dB (100 Hz) 3 dB (10 kHz) MID : 10 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz) HIGH : 11 dB (100 Hz) 11 dB (10 kHz) (ボリューム: - 30 dB)
負荷	インピーダンス: 4 (4 ~ 8 使用可能)

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 10.0 A
外形寸法	(取付寸法): 178 (W) \times 50 (H) \times 164 (D) mm (ノーズ寸法): 170 (W) \times 46 (H) \times 14 (D) mm
質量	: 1.4 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・ 修理窓口のご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2000

<KKYFF/00G00000 > <CRA3070-A/JS>